

県内町村の子どもの医療費無料化状況

小学校入学まで 無料	小学校卒業まで 無料	中学校卒業まで 無料	高校卒業まで 無料
山田町、滝沢村、 紫波町(注1)、 西和賀町、 矢巾町、大槌町、 岩泉町、洋野町	葛巻町(注2)、 金ヶ崎町	雫石町、 岩手町(注3)、 平泉町、住田町、 田野畑村、 普代村、軽米町、 野田村、九戸村	一戸町

注1 7歳に達する日以後最初の3月31日まで  
注2 12歳に達する日以後最初の3月31日まで  
注3 15歳に達する日以後最初の3月31日まで

**そのほかの質問**

- ◆ 仮設住宅に入居している一人暮らしの高齢者の世帯の状況と支援について
- ◆ 個人病院と介護福祉施設の再建の見通しについて
- ◆ 船を流された漁民への支援策について
- ◆ 二重〇んの実態・申請状況について

議員5人が一般質問

**質問** 住民税の16歳未満の人に対する扶養控除が平成24年度分より廃止となり、子育て世代への負担がさらに増えると思われる。子育て支援として子どもの医療費無料化を。

**沼崎町長** 基本的には国の施策であり、社会保障制度改革の動向を注視しながら機会を捉え国に訴えていく。

**質問** 高校生になると病気はめつたにしくなるが、受診が遅れると病気が長引き学業に支障をきたしたり

後遺症が残ることがある。受診を遅らせないために医療費の窓口負担をなくすことが有効と考える。未来を担う子どもの健やかな成長を願い大切に育てていくためにも、ぜひとも考えてほしい。子どもの健康を守ることに長い目で見れば医療費の軽減につながるのでは。

**豊間根国保介護課長** 県内で医療費を高校卒業まで無料にしているのは一戸町のみである。町としては機会あるごとに助成の拡大を国や県に要望していく。



木村洋子 議員

医療支援

宮古病院に通う入院患者家族の支援は

自己負担が原則

**質問** 県立山田病院が津波で被災したため、現在は入院施設のない診療所での外来診療が行われている。入院施設を持つ山田病院の一日も早い復旧を願うのは、町民の一致した気持ちであると思う。この間、入院となると宮古病院というケースが多い。町内に入院施設がないため宮古病院に入院

せざるを得なかった患者の家族は、経済面等の負担が大きい。大浦地区では宮古病院へ通うのにバスを利用すると三千元程かかる。病状によっては頻繁に通わなければならぬ場合もある。町として支援策を考えるべきでは。

**沼崎町長** 入院患者への見舞いについては自己負担が

医療支援

子どもの医療費の無料化は

国の動向を注視していく

原則と考えるので、町としては交通費等の支援については考えていない。

**質問** このことは震災のため生じた事態であり、本来

は山田病院に入院できたはずである。遠方に住んでいる人は本当に大変である。福祉バスやタクシーの利用等を含めた支援を考えるべきでは。

**里館健康福祉課長** 現在のところ支援について考えていない。